７月度「京都学ラウンジ　ミニ講座」（開催報告）

２０１９年７月２５日
京都学・歴彩館
０７５－７２３－４８３５

京都学・歴彩館では、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で、毎週木曜日に「京都学ラウンジ　ミニ講座」を開催しております。この度７月４日（木）～７月２５日（木）にかけて「生きた植物の博物館―京都府立植物園のすばらしき世界―」と題して、４回開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

■ 日　　時　　2019年 7月4日・１１日・１８日・２５日
いずれも木曜日１３：３０～１４：００

■ 会　　場　　京都府立京都学・歴彩館 京都学ラウンジ

■ 参加者数　　５１名（４日）、４０名（１１日）、５７名（１８日）
５８名（２５日）　　合計２１６名

■ 内　　容
「生きた植物の博物館―京都府立植物園のすばらしき世界」（全４回）
第１回　変わる植物分類学　（京都府立植物園園長　戸部　博）
第２回　もう一つの植物園　（京都府立植物園技術課課長補佐　平塚　健一）
第３回　植物園春夏秋冬　（京都府立植物園技術課課長　岡垣　勝）
第４回　植物園の歴史―大正～昭和～平成　そして令和
（京都府立植物園副園長　西原　昭二郎）

■ 講座の様子
京都府立植物園・・・。歴彩館のお隣さんにして、四季折々の多彩な植物を楽しませてくれる。足を運んだことのある方も多いだろう。７月度のミニ講座は、府立植物園職員を講師に迎え、植物園の様々な役割について講義をいただいた。技術の進歩により変化する植物分類学。DNA 分析により、遠い親戚と思われていた植物同士が非常に近しい関係にあることが明らかになるなど、目から鱗の第１回。植物の保全のために植物生息地の人々と努力を続ける植物園。その成功例と今後の課題を考えた第２回。春夏秋冬、目に鮮やかな植物園一年の移ろい。意外な景観スポットの紹介まであった第３回。大正１３年に開園した植物園の歴史とこれからの展望を見通した第４回。全ての回で植物園の新たな魅力をお話しいただいた。各回４０人以上の参加者を得て、大盛況のミニ講座となった。なお、第４回終了後、希望者を対象に「副園長と園内散歩」を実施し、３７名の参加を見た。